

ワインが深める “絆”



1



2

1. ワイン用ぶどう収穫の様子(昨年)
2. 牛久産ワイン「レガーム」

平成25年3月に植えたぶどうが、昨年12月、ついに赤ワイン(左写真)になりました。

醸造は姉妹都市である常陸太田市の檜山酒造に依頼。このワインは、一昨年友好都市を提携したワインで有名なイタリアのグレーヴェ・イン・キアンティ市と常陸太田市と牛久市の絆が未永く続くよう、「レガーム」(イタリア語で絆の意)と名付けられました。今回できたワインは384本。初めて醸造されたワインとあって、シリアルナバーをつけました。また、ワインができるまでの経緯をタグにして、ボトルに付けてあります。

ライトボディのすっきりとした味わいのこのワインは、和洋中どんな食事にも合います。牛久市の新名物になるかも知れません。価格は1本2000円(税込み)です。

問 1333

うしくグリーンファーム株式会社 875・

地域の防災力向上目指して 牛久市消防出初式



消防団・消防署による車両観閲報告を受ける池辺市長(写真右)と山岡団長(写真右から2人目)

1月10日、市中央生涯学習センター駐車場と文化ホールで「平成27年牛久市消防出初式」が行われ、牛久市消防団員や牛久消防署員約350人が参加しました。牛久市消防団員は、普段は生業に就きながら消防団活動に参加しており、火災時には火災現場などに駆けつけ、消火活動を行うなど、安全・安心なまちづくりに寄与しています。

式の第1部では車輛観閲や機械器具点検などが行われ、第2部では「茨城県消防協会会長表彰」の優良分団表彰が第8分団(柏田)に、「稲敷広域消防本部消防長表彰」が第22分団(井ノ岡)に贈られました。また、永年勤続功労章などの各章が団員たちに贈られました。

災害時の歯科医療救護 に関する協定

12月11日、市役所庁議室で「災害時の歯科医療救護に関する協定」が締結されました。この協定は牛久市と牛久市歯科医師会および茨城県南歯科医師会が災害時に避難所などでの口腔ケアチームの派遣などについて、お互いに協力して実施することを目的に締結したものです。これまでも阪神・淡路大震災や東日本大震災で、高齢者の方が誤嚥性肺炎などで亡くなる事例が多くありました。

茨城県南歯科医師会の飯塚秀人会長は「神戸の震災や東日本大震災の教訓に基づき、災害弱者や基礎疾患を持つている弱者の皆さんの口腔ケアをすることで、誤嚥性肺炎などを防ぎ、それをきっかけに地域の皆様に口腔ケアについて知っていただく」と協定の意義を語りました。



性肺炎などを防ぎ、それをきっかけに地域の皆様に口腔ケアについて知っていただく」と協定の意義を語りました。

かるたで郷土の魅力再発見

1月6日、市中央生涯学習センター多目的ホールで「第2回うしく郷土こどもかるた大会」が開催され、小・中学生29組58人が参加しました。

「うしく郷土こどもかるた」は「うしく郷土かるた制作チーム」が市内小学校3・4年生から読み札と絵札を募集し、平成25年に完成させたもので、読み札と絵札には市内の歴史的建物や自然を表した文章や絵が書かれています。

会場は絵札を取り合うときの「はい！」という元気な掛け声で賑わい、各チームは「目指せ優勝」と意気込んでいました。「うしく郷土かるた制作チーム」の森孝雄委員長は「今後はかるた大会だけでなく、かるたを市の活性化につながるように使っていきたい」と話していました。



▲賑わうかるた会場
◀うしく郷土こどもかるた



第2回うしく郷土こどもかるた大会結果

【敬称略】

順位	チーム名	氏名	学校名	学年
優勝	ラッキー7	藤田 緋	牛久小学校	6年
		吉田 日向子		
準優勝	パワフルGIRLS☆	山崎 聖奈	牛久小学校	5年
		橋本 南七海		
第3位	チームMT	横山 月乃	中根小学校	2年
		鶉飼 真央		4年
	龍の目	深川 航	ひたち野うしく小学校	5年
		佐藤 武		



新成人 夢へ向かって

1月11日、市中央生涯学習センター文化ホールで「平成27年牛久市成人式」が開催されました。

今年の新成人は814人(男性417人、女性397人)。冬晴れとなったこの日、新成人は振り袖やスーツ姿で同級生との久しぶりの再会を喜び合っていました。会場を訪れた新成人の中島明日香さんは「来年、管理栄養士の勉強が本格的に始まるので、頑張りたい」と話していました。



「いです」と抱負を語っていました。式典で池辺勝幸市長は「自分の夢、人生を確立して行ってほしい。皆さん頑張ってください」と激励。謝辞では、新成人を代表し、成人式実行委員会委員長の栗山侑大さんが、教師になるという自身の夢を語り、「恩師が叱咤激励してくれたように、子どもたちに手を差し伸べられる教師を目指し、日々精進してまいります」と述べました。

1. 会場の外で記念撮影をする新成人
2. 新成人を代表し、謝辞を述べる栗山さん
3. 成人式会場

初開催！子ども会と行政区 合同の餅つき大会

12月23日、大和田・中央・正直子ども会と行政区が合同で餅つき大会を開催しました(左上写真)。

会場には冬休みを前に地域の子どもたちが多数集まり、餅つきを楽しみました。子どもたちは杵を手を持ち、順々に餅をつき、つきたての餅は、お雑煮などにしておいしくいただきました。

参加した小学4年生の女子児童は「初めて餅をついたが自分ですくと倍おいしい。来年もぜひ開催してほしい」と話していました。また、1月18日には新地子ども



女兒たちも重い杵を持って「ヨイショ！」

会と行政区が合同で餅つき大会を行い、大人も子どもたちも新春の餅つきに汗を流しました。

参加した子どもたちは、生まれて初めて目にする、本物の杵と臼でつく餅が出来上がる様子に興味津々。自分たちの手でついた餅は、大人に教わりながら食べやすい大きさに丸め、お雑煮にしたり、きな粉やあんこをつけて全員でおいしくいただきました(左下写真)。

行政区と子ども会が一緒に行事に参加し、連携することで地域の大人が子どもたちに餅のつき方や丸め方のコツを教えたりするなど、世代間の交流を楽しみました。



子どもたちもつきたての餅を丸めました

牛久南中創立30周年記念式典



「挑」と書かれた応援団旗

12月19日、牛久南中学校体育館で、創立30周年記念式典が行われました。式典は多数の来賓を迎えて、厳かな雰囲気の中で行われました。「創立当時の牛久南中学校について」と題して行われた講演では、開校当時の先生だった吉原英夫さんが、開校間もない頃の思い出を生徒たちに話しました。

会場内には創立30周年を記念してPTAから贈られた「挑」と書かれた応援団旗が掲げられ、式典の雰囲気盛り上げました。第2部は、生徒会による発表と全校合唱が行われ、在校生は「しっかりと伝統を引き継いで素晴らしい南中を作っていきますよう」と力強く誓いました。

平成26年度平和の集い

12月6日、市中央生涯学習センターで「平成26年度平和の集い」が開催されました。当日は、昨年7月に広島市に派遣された牛久市中学生平和使節団(市内の中学2年生)20人が、原爆資料館を訪れたことや被爆体験者から当時の話を聞いて感じたことなどを発表。生徒たちは「被爆体験者などの語り部が減っていく中で、これらの事実を私たちは後世に伝えていく義務がある」などと話しました。



続いて行われた講演会では、戦場カメラマンでありジャーナリストである渡部陽一さんが「戦場カメラマンが見た世界」と題して講演。参加者たちにとつて、平和について改めて考える一日となりました。

女化秋祭りは大賑わい

12月13日と14日、女化芸術活動推進協議会主催で「女化秋祭り」が



「大根掘り体験」に、子どもたちは悪戦苦闘しながらも大喜び



大賑わいの女化青年研修所

千葉県流山市から来た小学4年生の女児は「こういったイベントは近所ではやって

開催されました。会場となった女化青年研修所で行われている各種講座の受講生と講師の「ギャラリ―展」や手軽に参加できる芸術に関する体験ブースや、野外演奏会、地元産野菜の格安販売など、会場は来場者たちの熱気ににぎわいを見せました。

いない。家の近所はマンションばかりで緑がないが、この辺りは自然が多くて気持ちよい」と話し、エコバッグづくりに取り組みました。会場に隣接する畑で行われた「大根掘り体験」には多くの親子連れが参加。ひたち野東から親子連れで来場した男性は「昨年も大根掘りを体験したが、普段は大根を食べない娘が、自分で収穫した大根だと美味しいといって喜んで食べてくれた」と自然と触れ合える女化秋祭りの魅力を語りました。

冬のひととき国際交流

12月6日、三日月橋生涯学習センターで牛久市日本語教室「冬の交流会」が行われました。この催しは、牛久市国際交流協会主催の日本語教室で学習している外国人学習者や日本語教室ボランティア同士の親睦を図り、国際交流・異文化理解の機会とすることを目的に開催しています。当日は約110人が参加し、自国の料理を振る舞ったり各国の言葉で歌を歌うなど、和やかな雰囲気の下、交流を

深めました。

タイ出身

の森パノワ

ンさんは、

「毎回参加していま

す。楽しい。」と笑顔で話し、国際

交流を目的に参加した東洋大学附

属牛久高等学校の木村秋涼さんは

「色々な国の人たちと交流が持ち

たかったので参加しました。将来

は英語を使う仕事をしたい」と話

していました。



外国人学習者が作った郷土料理



自国の言語で歌う外国人参加者たち

ヘルスマイトが受賞報告



食生活改善推進員(ヘルスマイト)の皆さん

1月6日、牛久市食生活改善推進員連絡協議会(松本典子会長)が第6回「健やか親子21国民運動」8020の里賞(ロツテ賞)奨励賞受賞の報告のため、市役所を表敬訪問しました。

この賞は乳幼児の健康づくりのための活動(食育、早寝早起き朝ごはん、子どもの家庭内の事故防止など)をテーマにした手作り教材の作成、寸劇、紙芝居、パネルシアターなどによる啓発活動を奨励するために贈られるものです。

同協議会は手作りの夕べストリーと紙芝居を持参して、朝ごはんの大切さや受賞の喜びを市長に語りました。

みどり野区が寄付

12月10日、みどり野区が牛久市役所を訪れ、牛久市社会福祉協議会へ5万円を寄付しました。みどり野区(廣瀬隆司区長)では毎年文化祭での収益金を牛久市社会福祉協議会へ寄付しています。この寄付金は、地域福祉推進のために使われます。



みどり野区長(写真右)から寄付金を受け取る池辺市長

障害者連合会が要望書提出

12月24日、牛久市障害者連合会(櫻井勝利会長)が市役所を訪れ、要望書を提出しました。同連合会は、障がいのある当事者や親の会など計8団体で構成されています。

この日、清水治郎保健福祉部長と牛久市の福祉行政について意見を交わし、障がい者への理解促進や相談支援機関の強化など、障がいに関する課題に対して、市が改善に向けて取り組むよう要望を提出しました。



清水保健福祉部長と牛久市障害者連合会(牛久市身体障害者福祉協議会、牛久市視覚障害者福祉協会、牛久市手をつなぐ育成会、うしく肢体不自由児者父母の会、牛久心身障害学習会、牛久精神保健福祉会ぬくもりの会、牛久市聴覚障害者協会、茨城県心臓病の子どもを守る会牛久分会)の皆さん

救急事例検討会を実施

稲敷広域消防本部牛久消防署では、救急隊員の資格を有する近隣署所の隊員など90人が参加し、「救急隊員事例検討会」を実施しました。牛久愛和総合病院のご協力のもと、「脳神経外科ホットライン」を用いて救急搬送した事例について、牛久消防署の救急救命士が発表。その内容について同病院脳神経外科医長の松岡医師からアドバイスを頂き、後半は講義を受けました。

消防業務の一環である救急活動は、迅速な観察評価からの病院選

初期消火で火災を鎮火

12月5日、神谷在任の坂本英司・みゆきさん夫妻が、牛久消防署の武田弘署長から、消防協力者表彰を受けました。

ご夫妻は10月30日に隣家の宅地内で発生した火災を発見し、二人で連携して初期消火を行い、鎮火させました。英司さんは「40×50cmの火柱が上がり火がすごい勢いだった。どこに水をかけていいのか分からなかったが、自宅に延焼

定、応急救命処置に至るまで、市民の尊い命はもとより、予後生活を左右する大変重要な任務となっています。参加した救急隊員は、市民の期待に応えられるよう、更なるレベルアップを図りました。



救急隊員の研修を目的に開催された救急隊員事例検討会

しないよう消防車が来るまで自宅庭のホースを延ばして水をかけ続けた。消火器を家に設置する必要性を痛感した」と消火の様様を語りました。



武田弘署長(写真中央)から表彰を受けた坂本英司・みゆきさん

交通安全の献身的な尽力 「交通栄誉章緑十字金章」表彰

1月16日、東京都の日比谷公会堂で（一財）全日本交通安全協会と警察庁共催で「第55回交通安全全国民運動中央大会」が開催されました。

会場では、牛久地区交通安全母の会連合会会長の神戸礼子さんが警察庁長官および（一財）全日本交通安全協会会長から、交通安全功労者として「交通栄誉章緑十字金章」の表彰を受けました。

多年にわたり、交通安全のために献身的な尽力をし、交通事故の防止と交通秩序の確立に抜群の功績があったと認められました。



表彰を受けた神戸礼子さん

うしくかっぱつ体操普及員と一緒に体操をしてみませんか？

うしくかっぱつ体操普及員11回生が誕生

12月22日、15行政区を代表する市民20人が、うしくかっぱつ体操普及員養成講座を修了して、活動を開始しました。

この体操は、平成16年に誕生した牛久市独自の転倒予防体操で、今回の新たな普及員を加えた総勢286人が、市内外の行事で体操普及にあっています。地域での介護予防を推進するための重要な担い手として、日々活躍するとともに、今後の活動にも期待が高まっています。

市民の皆さんも自らの健康のため、普及員や地域の方と一緒に、体操をしてみませんか？日程は毎月回覧の「支援センター便り」に掲載しています。お近くの会場にぜひお越しください。



うしくかっぱつ体操普及員養成講座を修了した方たち。地域での介護予防を推進します！

平成26年度 茨城県武道フェスティバル 少林寺拳法大会結果

<11月16日、茨城県武道館> (敬称略)

受賞名	氏名
男子マスターズの部 最優秀賞	相馬 弘宜・中村 敏英
小学生の部 敢闘賞	尾崎 太一・中泉 蓮



市町村対抗の部で7位入賞

12月13日、笠松運動公園陸上競技場で「第31回茨城県民駅伝競走大会」が行われました。出場した牛久市代表チームは「市町村対抗の部」で、21市町村参加の中で7位入賞をしました。



7位入賞をした選手たち(牛久第三中学校、牛久南中学校、東洋大附属牛久高等学校、茨城県立牛久高等学校、牛久走友会から選抜)

ガールスカウト日本連盟 茨城県第27団が寄付



12月25日、ガールスカウト日本連盟茨城県第27団が市役所を訪れ、牛久市社会福祉協議会に「歳末たすけあい募金」として1万円を寄付しました(右写真)。

この寄付金は地域の支え合い活動や低所得者への支援などに使われる予定です。

バトントワーリングの全国大会で受賞

1月6日、「クッキーズバトントクラブ」が全国大会の結果報告のため、市役所を表彰訪問しました。

同クラブは、12月に幕張メッセで行われた「第42回バトントワーリング全国大会」に出場。12歳以下の「クッキーズJr. バトントクラブ」はバトンを一度も落とさなかつたチームに贈られる「ノードロップ賞」を、18歳以下の「クッキーズバトントクラブ」は第3位を受賞しました。同クラブの坂藤百萌さんは「3年ぶりの全国大会で、第3位を受賞できうれしかった」と喜びを語りました。



全国大会の報告に訪れたクッキーズバトントクラブの皆さん



短歌・俳句・川柳

駒まわし子供喜ぶお年玉

小坂町 櫻井さん

芽出度きは未三代恙なく

南 堀さん

ゆつくりと初日をつかむ太極拳

田宮 高階さん

幹ふとりかねのなる木に小花さく

上柏田 枝さん

オリンピック夢見る子らは輝いて

神谷町 長澤さん

風はしり枯葉と犬のかけくらべ

牛久町 さたけ

侘助の春待ち顔の蕾かな

奥原町 代田さん

級友会懐かし顔が勢揃い

古希のお祝い再会決めり

正直町 草葉

冬休みかぶと幼虫探しあて

子らの喚声小坂城跡

小坂団地 高橋さん

「長生きをして下さい」と言いし児らの

声音それぞれ忘れ難しも

岡見町 匿名希望

このコーナーでは、市民の皆さんから寄せられたイラストや俳句、川柳などを紹介しています。なお、お便りには住所と氏名、電話番号を記入してください。また、匿名希望の方は、その旨記入してください。ペンネームもOKです。紙面の都合上、全てを掲載できない場合がありますが、今後もお便りをお待ちしています。

【あて先】 〒300-1292 牛久市中央3-15-1「広報うしくちよつと休憩」係

Eメール shimin@city.ushiku.ibaraki.jp